

『世のため人のため』

シビルNPO 連携プラットフォーム 理事
山崎 晶



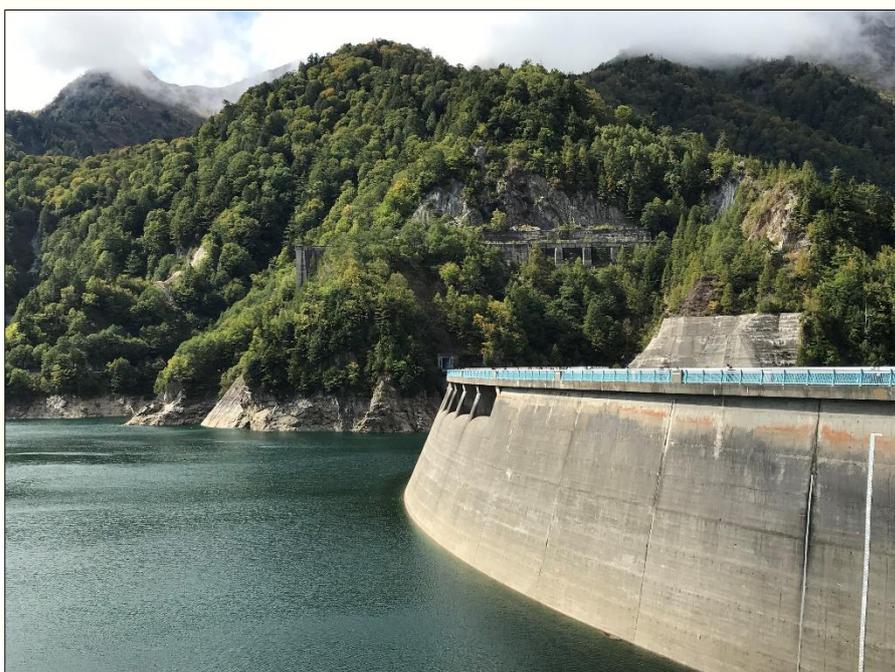
10月の総会にて前任の大田からの交代ということで、理事に選任された山崎晶です。小生、昭和33年7月生まれで、大学を卒業し熊谷組に入社し、現在土木事業本部所属で国内・海外の営業を担当しています。大田の部下として土木界のトップの方の警咳に触れることが多く、その中で山本代表やCNCPを知り、様々なご縁を頂くこととなりました。

小生、土木の道を歩んだのは、子供の頃の家の庭でのトンネル掘りの楽しさや、映画「黒部の太陽」を見ての高揚感からだったと思います。先日、建築界のトップの方と黒四ダムを訪問しました。その際、その方から「土木の方は皆、公共心が強いですね」と言われました。確かに我々、仕事をするのは家族を養い毎日の生活をするためですが、その中で誇りや生き甲斐は金儲けや出世などではなく、いいものが出来た・世のため人のためにお役に立つ仕事が出来たということが大きいと思います。その意味で、建築の先生の言われた「公共心」、自らの事としてよく理解できます。

世間が右肩上がりの状況ではなくなり、土木を取り巻く環境も、維持更新事業の増大や就業者の減少、インハウスエンジニアの不足、地方地域の機能維持等、様々な社会的な課題が急激に増え、その解決が必要となっています。CSVを念頭に立ち上がった「土木と市民社会をつなぐ事業研究会」は、正にこれを見据えているとお聞きしました。企業がその活動の一環とし

て社会的課題解決を図り、その対価として幾ばくかの利益を頂戴するのは、極めて真っ当なことで今後の時代に必須の活動と思います。CNCPは中間支援組織であり、各企業や事業者との関わり方に工夫が必要ですが、CNCPと土木学会の繋がりは極めて深く、この点は各組織との連携の大きなポイントと思います。事業研究会の活動、先の公共心に繋がる事項で、大変重要と思います。

CNCPを拝見していると、様々なフィールドでキーマンとして活動している方々を中心に、世のため人のために実に様々な活動を展開されていると感じ、頭が下がります。以上のことは皆様方には釈迦に説法でしてはと思いますが、小生もCNCPの実践活動の仲間入りをさせて頂き、微力でもCNCPの発展に寄与したいと心しております。どうか宜しくお願い致します。



〈写真、今秋の黒四ダム〉